

1. 日時 平成 29 年 1 月 19 日 10:00～

2. 場所 彦根市民会館 3 階 会議室

3. 出席者 (五十音順)

<委員>7 名

金谷 健

可児島 達夫

小林 伊三夫

中村 傳一郎

西元 靖怜子

東 幸子

渡邊 美幸

<事務局>11 名

上下水道部：疋田部長、藤原次長、和田副参事

上水道工務課：村長課長、藤田課長補佐、久保田浄水場長、杉本建設改良係長

上下水道業務課：木田徴収係長、橋本上水道業務係長

上下水道総務課：福田、中川

<彦根市水道事業第 3 期中期経営計画等策定委託業務受注者>2 名

株式会社東京設計事務所

【開会】

事務局

ただいまから平成 28 年度第 2 回彦根市水道事業経営等検討委員会を開会致します。委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席下さいまして、誠にありがとうございます。

まず、資料の確認をお願い致します。今回、お手元に 5 つ資料がございます。

事前に送付させて頂きました彦根市水道事業ビジョン（素案）、彦根市水安全計画書がございますか。

続きまして本日配布しております会議の次第、彦根市水道事業第 3 期中期経営計画（経営戦略）（素案）、彦根市水道事業ビジョン（素案）の資料編の差替はお手元がございますか。本日の資料は以上となります。

本日の会議ですが、彦根市水道事業経営等検討委員会設置要綱第 6 条第 3 項の規定により会議の成立要件と致しまして委員の過半数の出席が必要となります。本日は現在 7 名中 7 名の方にご出席いただいておりますので、ここに会議が成立しますことをご報告いたします。

それではただいまから会議次第に沿いまして進めて頂きたいと存じますが、設置要綱第 6 条第 2 項の規定により会議の議長は委員長があたることになっておりますので可児島委員長よろしくお願い致します。

委員長

皆様おはようございます。本年もどうぞよろしくお願い致します
それではさっそくですが議題に入りたいと思います。議題 1 つ目の彦根市水道事業ビジョンについてお願いします。

事務局

それでは、事前に送付しました彦根市水道事業ビジョン素案をお願いします。
まず、訂正をお願いします。10 ページの下の課題から 5 行上の水質面や耐久性に問題の問題を「課題」に訂正願います。27 ページの将来の施設利用率の表で、3 段目の施設利用率上限値の H33 を 88 から 85 へ、H38 を 86 から 83 に訂正、4 段目の施設利用率下限値の H33 を 88 から 84 へ、H38 の 85 を 82 に訂正、34 ページ最下段の管路の耐震化率で、中期 H29～H38 の 20.4 を 21.5 に訂正、長期 H38～H68 の 82.4 を「50～90」に訂正、また、38 ページの表の真ん中の指標で施設利用率の中期 H29～H38 の 86 を 83 に訂正願います。

また、50 ページから 53 ページにつきましては、本日配布の「業務指標解説」と差替えをお願いします。今回、業務指標の名称や計算方法を一部修正しております。業務指標は、水道事業の活動全般を分析・評価するために日本水道協会が平成 17 年に水道事業ガイドラインとして定めましたが、2016 年に一部の指標に変更があり、2016 年版に修正したものでございます。また前回は類似団体の平均、全国平均を記載していましたが、新しい業務指標での類似団体等の数値は中央値を記載しておりますので、よろしく願いいたします。

今回の彦根市水道事業ビジョン（素案）は、前回の会議での委員のみなさまの意見を踏まえ修正や内容を練り直し作成しました。表紙にビジョンの基本理念であります「安心・安全な水を届け 暮らしを守る 彦根の水道」と記載しました。琵琶湖の図が一部切れておりますが訂正させていただきます。

【彦根市水道事業ビジョンについて】

事務局

それでは説明に入らせていただきます。

事務局

配布資料をもとに説明
資料 彦根市水道事業ビジョン（素案）

委員長

ただいまの事務局からの説明に関しまして、ご質問やご意見等がございましたらお願いします。

(質疑および意見)

委員

・表題に、「第1期」や「(〇年～〇年)」等の表記を加えてはどうでしょうか。その際に年月日を記載する場合は西暦を用いるのが望ましいです。

委員

・p.1 ビジョンに関する市の取り組みの沿革が読み取れるよう、表現を分かりやすく修正してほしい。水道事業ビジョンは今回初めて策定すること、また次期経営計画はこのビジョンに基づいて策定することを明確にし、さらに第2期中期経営計画とは策定のプロセスが異なる新しいものであることが市民に伝わるように修正してほしい。

委員

・p.1 下から6行目「～事業の健全化に努めてきました。しかし本年度～」の「しかし」を別の表現に修正してほしい。

委員

・p.2 の計画位置付け図について、「厚生労働省新水道ビジョン」は上位計画であるため、「彦根市総合計画」と並べて図の上に移動し、左の「彦根市水道事業経営改革プラン」「第2期中期経営計画」「第5次水道拡張事業」の下にそれぞれ計画期間をカッコ書きで追記してほしい。さらに「彦根市水道ビジョン」の下に矢印⇒を付けて「第3期中期経営計画」を追加してほしい。

委員

・p.2 計画期間図の「事業計画期間」を「中期」に変更し、文中の「基本的な計画期間」も「事業計画期間」もしくは「中期」に統一、「10年後の平成38年度」を「10年後までの平成29年から平成38年」に変更してほしい。

委員

・p.2 「本ビジョンでは、基本的な計画期間を上位計画に近い10年後の～」とあるが、「近い」を「踏まえて」等の表現に修正してほしい。

委員

・p.2 の図では上位・下位計画と時間軸の関係が伝わり難いので、上位・下位関係のみに絞った図を作成し、時間軸に沿った沿革図を別に用意すれば良いのではないのでしょうか。また、その上で本文を「本ビジョンは彦根市の「総合計画」を上位計画とし、厚生労働省の「新水道ビジョン」に基づいて、彦根市の水道事業のビジョンとして策定するものです。本ビジョンに基づいて『第3期中期経営計画』が策定されます。」といったように、一文を区切って記述してはどうでしょうか。

委員

・p.3 の滋賀県地図、p.6 の水源別給水エリア分布図、p.34 管路の耐震化イメージ図、p.45-46 課題と実現方策整理表が小さすぎて見にくいので修正してほしい。

委員

・p.4 水道事業の沿革図について、縦並びにする等レイアウトを改善してほしい。

委員

・第3章について、課題の表がある項とない項があるためどちらかに統一してほしい。

委員

・p.12 「1) 水道施設の耐震性」において、「その他小規模なポンプ場や配水池はまだ耐震

性がない状態です」とあるが、これは耐震性に関する特定の指標を満たしていないという意味なのですか。

事務局

・単に耐震化がされていないという意味であり、表現を改めます。

委員

・p. 13-14 について、「2) 水害対策」では自家発電設備の浸水時のリスクについて述べ、一方で「4) 危機管理体制」では自家発電設備による応急給水について述べているのは違和感があるため、後者の表現を改めるべきではないでしょうか。

委員

・p. 15 「5) 災害時におけるお客様への情報提供」において、「定期的に広報することとしています」とありますが、災害という緊急時に定期的という表現は好ましくないので、より具体的な表現に改めてほしい。

委員

・p. 15 他の項目では課題の記載がありますが、p. 15 には記載がありません。課題の記載について統一してはどうでしょうか。

委員

・p. 16 「3.3.1 水道施設の更新」について、浄水施設の定義や老朽化管路・設備の割合の良し悪しが分かり難いため、もう少し整理した記述をしてほしい。

委員

・p. 19 「1) 管路の維持管理」について、何のために有収率の向上を目指すのか、漏水対策というだけでは理解し難いので因果関係をもう少し明確に記載してほしい。

委員

・p. 21 「1) 業務と組織体制」において、「職員数の推移は下記のとおりです」とあるが「下記」を「表 1」等の表現に修正してほしい。

委員

・人員の削減は何故しなければならないのですか。

事務局

・水道局の業務窓口をお客様サービスセンターに一本化するためです。

委員

・p. 26 の給水人口と給水量（有収水量）グラフが平成 47 年度までであることに対する注釈を追加し、また 48 年度から 68 年度までの間はどのような形で推移すると考えているかについての考察を加筆してほしい。

委員

・p. 29 の図について、左の安全・強靱・持続の上に「『基本方針』」、右上に「『施策目標』」を追加し、また「◆安心・安全な水の供給」「◆災害に強い水道の構築」「◆持続可能な水道経営」をそれぞれ安全・強靱・持続の下に移動してはどうでしょうか。

委員

・第 6 章以降で示した実現方策が、当面 10 年間の整備予定額で実現可能かどうか記載されていません。可能であれば料金値上げ等で資金を確保する必要がある旨を記載すべきではないでしょうか。

- 委員 ・ p. 31 「6. 1. 3 給水水質の向上」は重要な課題であり、受水槽の維持管理だけの問題ではありません。過半数の家庭が直結給水方式であるため、水質に問題がないのであれば「今後も現在の水質を維持していく」等の記述が必要と思われます。
- 委員 ・ p. 33 「3) 管路の耐震化」は2、3の項目に分けて記述した方が分かりやすいのではないのでしょうか。
- 委員 ・ p. 33 のように、本文と図表が同ページに収まっていない箇所が複数あるので改善してほしい。
- 委員 ・ p. 38 「2) アセットマネジメントによる計画的な更新」において、『3. 3. 1 水道施設の更新』で示したとおり、今後10年間の更新需要は（中略）管路で99億円とありますが、この数字はp. 16「水道施設の更新」には記載されていません。他のページで予め示された数字であれば章タイトルやページ番号等を記載すべきではないのでしょうか。
- 委員 ・ p. 38 冒頭の「本市では施設整備計画を策定していますが～」はp. 40にも同様の記述があるため、いずれかを省略すべきではないのでしょうか。
- 委員 ・ p. 38 「2) アセットマネジメントによる計画的な更新」において、更新需要と実際の整備予定額との間に大きな差があります。経費削減だけでなく、水道料金値上げの必要があることについても言及し、さらに管路の現実的な耐用年数も踏まえてより詳細な記述をしてほしい。
- 委員 ・ p. 39 上図のグラフが何を意味しているか分からないため、説明を追記してほしい。
- 委員 ・ p. 45-46の文字のフォントの色を黒字にしてほしい。
- 委員 ・ p. 47 フォローアップ表の「次期計画の策定」を「次期水道事業ビジョンの策定」に修正してほしい。
- 委員 ・ 全体の意見として、同じ内容のものは同じページに収まると分かりやすいが、全てやろうとするとかえって余白ができるため、可能な限り収めてほしい。特にp. 45-46はA3折り込み1枚にする等して一つの表にまとめてほしい。
- 事務局 ○彦根市水安全計画について
配布資料をもとに説明
資料 彦根市水安全計画書
- 委員 ・ 水道事業の概要にある計画目標年度とは具体的にいつですか？

事務局

・第5次水道拡張事業の目標年度のことです。

委員

・総トリハロメタン濃度はどのような頻度で計っていますか。

事務局

・業務委託により3か月に一度計っており、残留塩素は常にモニタリングしています。

委員

・残留塩素に関する対応を記載すべきではないでしょうか。

事務局

・今回はあくまで水安全計画の説明であり、見直しは5年に一度必要に応じて行うため、その際は委員各位に意見を求めさせていただきます。

委員長

総じて、本日の意見を是非検討して頂きたいと思います。

事務局

次回までに本日のご意見を部内で協議致しまして、次回に修正案を提示致します。

委員長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。

事務局

ありがとうございました。